

メーデー宣言（案）

本日、私たちは第86回メーデー奈良地方大会を開催した。

東日本大震災からすでに4年が経過したが、現在も約23万人もの人々が避難生活を余儀なくされ、大変な苦勞を強いられている。私たちは、これからも被災地の復興と再生に向けて力を尽くすとともに、震災の教訓を決して風化させることなく、被災地との絆を深め、安定的な雇用と安心な生活の確保に取り組んでいく。

一方、わが国の経済・社会は、格差の拡大、大幅な財政赤字、社会保障制度改革の遅れなど、依然として深刻な状況にある。私たちは2015春季生活闘争を最後まで闘い抜き、「底上げ・底支え」「格差是正」の実現を果たし、「デフレからの脱却」と「経済の好循環の実現」をはかっていく。

そして、労働者保護ルール改悪阻止と「全世代支援型」社会保障制度の確立などを求め、全国のメーデー大会で以下の対政府要求を確認し、その実現のための全国統一行動をスタートさせる。

- 一．労働者派遣法の改悪をしないこと。
- 一．実効ある長時間労働抑止策を導入すること。労働時間規制の緩和につながる労働基準法の改悪をしないこと。
- 一．公的年金制度の年金積立金の運用にあたって拠出者である労使の意思が確実に反映できるガバナンス体制を構築すること。

労働者を使い捨てにする“ブラック企業”問題が広がる時代にあって労働組合の必要性は益々高まっている。働く者の力をより大きくしていくためにも、あらゆる職場で労働組合をつくり、一人でも多くの仲間を増やして1000万連合の実現をめざそう。

本年は戦後70年の節目の年である。先の大戦を経験された方々と同じ時代に生きる者として、私たちは、戦争を二度と繰り返してはならないという平和への誓いを、次世代にしっかりと継承していく責務がある。単なる過去の歴史として記憶のあなたに追いやるのではなく、他人事ではなく自分事として考え、平和への誓いを全ての仲間と共有し前進していこう。

メーデーは労働者の国際連帯の日である。私たちは、国際労働組合総連合（ITUC）や諸外国の労働組合の仲間と連帯し、自由で民主的な労働運動とすべての働く者の幸福を実現するための取り組みを強化する。

「平和を守り、雇用を立て直す みんなの安心のため、さらなる一步を踏み出そう！」

志を同じくするすべての仲間との連携により、STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現に邁進し、「働くことを軸とする安心社会」への扉を切り拓くことを、今ここに宣言する！

2015年4月29日
第86回メーデー奈良地方大会

戦後70周年にあたっての特別決議（案）

「平和」は、私たちが安心して働き、暮らすための礎である。

今から70年前、日本中が空襲による無差別攻撃にさらされた。沖縄では鉄の暴風が吹き荒れ、そしてヒロシマ・ナガサキは原子爆弾に焼き尽くされるなど、日本列島は焦土と化した。また、国後島・択捉島・歯舞諸島・色丹島は不当に占拠された。

あれから70年が経過した。日本は高度成長を経て、様々な課題を抱えつつも、この間、私たちは戦争のない平和な時間を共有することができてきた。

私たちには、戦争を経験しその爪痕に苦しむ人たちと今、同じ時代に生きる者として、戦争の悲惨さを次世代にしっかりと継承していく責務がある。

そして、今なお抱える困難や課題を、他人事ではなく自分の事として考えると共に、痛みを分かち合う心と平和を希求する願いを全ての働く仲間と共有し前進していかなければならない。

世界の恒久平和をめざし、近隣諸国をはじめ世界の仲間との相互理解を深め、国際連帯の輪を拡げていこう。

二度と戦争は起こしてはならない。

私たちは、戦争や貧困、差別など平和に対する脅威をなくすための運動に積極的に取り組み、国内外の世論を喚起し、地球規模での“絆づくり”を進めていくことを誓い、ここに決議する。

2015年4月29日
第86回メーデー奈良地方大会